

2015年2月号
2015.2.13
NO.123-1

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス



産総研本格研究ワークショップinおかやま (岡山:H27.2.24) ～地域を元気にする産総研との連携～

産業技術総合研究所中国センターは、地域経済活性化に資するべく、オープンイノベーションハブとしての活動を積極的に展開しております。

本ワークショップでは、木質系バイオマスの自動車部品やエネルギー材料などマテリアル利用、水素キャリアの研究開発についてご紹介致します。活発な意見交換と情報共有を通じて、今後益々の連携が進むことを期待申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【日 時】 平成27年2月24日 (火) 13:00～17:00 (交流会17:15～18:30)
【場 所】 ホテルグランヴィア岡山 4階フェニックス (交流会：3階クリスタル)
(岡山市北区駅元町1-5)
【定 員】 250名 (申し込み順：定員になり次第、締め切ります。)
【参加費】 無料 (但し、交流会参加費3,000円。当日、受付にて申し受けます。)

【プログラム】

13:00～13:30 開会挨拶、来賓挨拶、趣旨説明など

13:30～14:00 基調講演「3Dメディカルテクノロジー」
ナカシマメディカル株式会社 代表取締役社長 中島 義雄 氏

14:00～14:10 休憩

＜地域連携プロジェクト＞

(1) 「木質系バイオマスのマテリアル利用技術の展開」

14:10～14:20 「森と人が共生するSMART工場モデル実証事業の概要」
産総研 中国産学官連携センター イノベーションコーディネータ 小田 喜一

14:20～14:35 「木質系バイオマスの高度利用技術～ナノファイバー製造と複合材料開発～」
産総研 バイオマスリファイナリー研究センター
セルロース利用チーム 研究チーム長 遠藤 貴士

14:35～14:50 「木質系バイオマスからのセルロースナノファイバー製造とその特性」
モリマシナリー株式会社 セルロース開発室 室長 山本 顕弘 氏

14:50～15:05 「セルロースナノファイバーの自動車用ゴム製品への利用」
丸五ゴム工業株式会社 新規事業開発部 服部 文彦 氏

15:05～15:20 「県産ヒノキを用いた高規格木粉の開発と実用化」
岡山県農林水産総合センター 森林研究所
木材加工研究室 研究員 野上 英孝 氏

15:20～15:35 「セルロースナノファイバー系複合材料の炭素電極材料への利用」
岡山大学大学院自然科学研究科 講師 沖原 巧 氏

15:35～15:50 休憩

＜次ページへ＞

2015年2月号
2015.2.13
NO.123-2

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

(2) 「再生可能エネルギーの展開」

- 15:50～16:05 「再生可能エネルギー貯蔵のための水素キャリア技術」
産総研 福島再生可能エネルギー研究所 再生可能エネルギー研究センター
水素キャリアチーム 主任研究員 難波 哲哉
- 16:05～16:20 「岡山市京山太陽光発電に影響を与える大気中のエアロゾルの挙動について」
岡山大学大学院自然科学研究科 教授 塚本 修 氏

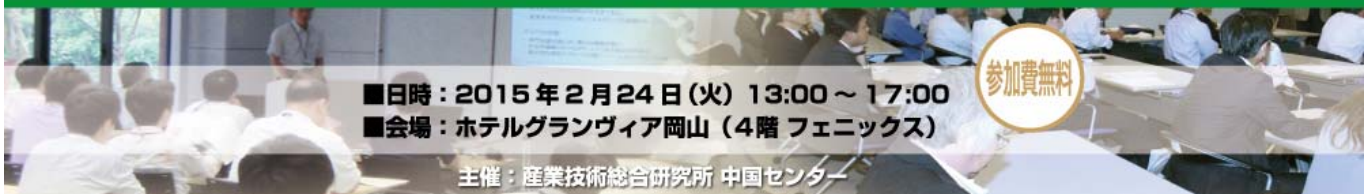
(3) 「産学金官連携」

- 16:20～16:35 「商工中金の中小企業支援への取組みと産総研との連携について」
株式会社商工組合中央金庫 ソリューション事業部 部長 山口 卓郎 氏
- 16:35～16:55 総合討論
- 16:55～17:00 閉会挨拶
- 17:15～18:30 交流会 (3階 クリスタル)

12:15～13:00 技術相談会
(4階 董)

13:00～18:30 パネル展示
(4階 ホワイエ)

産総研本格研究ワークショップ in おかやま 地域を元気にする産総研との連携



■日時：2015年2月24日(火) 13:00～17:00
■会場：ホテルグランヴィア岡山 (4階 フェニックス)

主催：産業技術総合研究所 中国センター

【お申し込みはこちらから】

産総研 WS 岡山

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/chugoku/even/2013/20131128.html>

2015年2月号
2015.2.13
NO.123-3

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス



産総研の最近の主な研究成果 (平成27年1月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2015/01/07>

脳損傷によって失われた運動機能を肩代わりする脳の変化を解明 —脳から学んだリハビリの開発につながる発見—

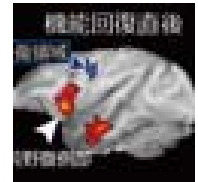
【発表のポイント】

- ・ 損傷を逃れた残存する脳の領域が、損傷領域が担っていた運動機能を肩代わりする
- ・ 機能回復の直後には残存する別の皮質領域が、回復の安定期では損傷近傍の領域が重要な役割
- ・ より効果的なリハビリや機能回復技術の開発が期待される

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150107/pr20150107.html

(ヒューマンライフテクノロジー研究部門)



<発表・掲載日：2015/01/09>

広島大学が産・官の協力を得て開発したトランジスタモデル「HiSIM-SOTB」が日本で4つめの国際標準に選定 —迅速な開発シナリオの実現—

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150109/pr20150109.html

(ナノエレクトロニクス研究部門)



<発表・掲載日：2015/01/13>

未来の磁気メモリー材料開発につながる新たな電気分極成分を発見ポイント

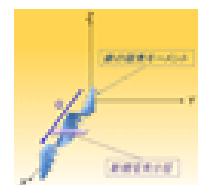
【発表のポイント】

- ・ ビスマスフェライトという物質において磁場で制御できる新たな電気分極成分を発見し、この新しい成分が室温で示す不揮発性メモリー効果を観測しました。
- ・ ビスマスフェライトにおいてこれまで見つかっていなかった上記の性質を、瞬間的に発生可能な世界屈指のパルス強磁場を用いた精密実験で初めて明らかにしました。
- ・ 磁場で電気分極成分を制御できる性質は、消費電力が少なく磁石を近づけても情報が消えない磁気メモリー材料といった応用技術の発展につながると期待されます。

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150113/pr20150113.html

(電子光技術研究部門)



<次ページへ>

2015年2月号
2015.2.13
NO.123-4

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

<発表・掲載日：2015/01/16>

音楽に合わせてリアルタイムにロボットを踊らせる制御システム 「V-Sido × Songle」を開発 —アスラテック「V-Sido OS」と産総研「Songle」で実現—

【発表のポイント】

- ・ 楽曲の進行に合わせて振り付けパターンを割り当てて人型ロボットを踊らせる制御システムを開発
- ・ 産総研のSongleが解析済みの80万曲以上を利用でき、楽曲を選んで即座に踊らせることが可能
- ・ 踊っている最中に、ユーザーによる振り付けパターン選択や歩行指示を組み合わせて動かせる
- ・ アスラテックのV-Sido OSが、床面を傾けたり歩かせたりしても踊り続けるロボット制御を実現



【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150116/pr20150116.html
(情報技術研究部門)

【産総研の研究成果記事一覧】

産総研 プレス

検索

CLICK!!

http://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html



出版物紹介

産総研・出版物のご紹介

産総研Today 2月号

産総研で行われる研究開発を、研究者の言葉でお届けします。また産総研の経営情報やいろいろなニュースも交えて、様々な角度から産総研を紹介する月刊広報誌です。今月号は創設した産総研論文賞の受賞論文の概要をご紹介します。



AIST Today

検索

CLICK!!

http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/at_research_main.html